

給与支払報告書の書き方

①住所・氏名・個人番号

住所・氏名(フリガナ)は令和7年1月1日現在の状況を記入してください。

②特定扶養親族の数

控除対象扶養親族のうち19歳以上23歳未満の人(平成14年1月2日から平成18年1月1日までに生まれた人)の数を記入してください。

③老人扶養親族の数

控除対象扶養親族のうち70歳以上の人(昭和30年1月1日以前に生まれた人)の数を記入してください。

老人扶養親族が同居している場合は、「H」欄にその人の数を記入してください。

④その他の扶養親族の数

控除対象扶養親族である16歳以上の人(平成21年1月1日以前に生まれた人)のうち、特定扶養親族、老人扶養親族以外の人の数を記入してください。

⑤16歳未満扶養親族の数

扶養親族のうち16歳未満の人(平成21年1月2日以降に生まれた人)の数を記入してください。

※表面左側の6をお読みください。

⑥障害者の数

(源泉)控除対象配偶者、扶養親族及び同一生計配偶者のうち障害者控除の対象者の数を記入してください。特別障害者が同居している場合は、特別障害者「K」欄にその人の数を記入してください。

例：控除対象扶養親族3人のうち
1人が同居の特別障害者である場合

控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く)				16歳未満 扶養親族 の数		障害者の数 (本人を除く)	
特定	老人	その他	その他	特定	その他	特定	その他
0	1	0	0	0	0	1	0

※配偶者控除の対象ではない同一生計配偶者の障害者控除については表面の⑧摘要欄の記入事項2をお読みください。

⑦社会保険料等の金額・⑨国民年金保険料等の金額

本人の申告による小規模企業共済等掛金の控除分がある場合、下記の例のように内書となりますので注意してください。

社会保険料等の金額に国民年金保険料等がある場合は、⑨欄に金額を記入してください。

※表面の⑧摘要欄の記入事項3もお読みください。

例：給与等からの控除分……………913,386円

申告による小規模企業共済等掛金……………120,000円

申告による国民年金保険料……………176,460円

(⑨欄に記入が必要です)

社会保険料等の金額			
⑨内	千	円	銭
1	2	0	0
1	2	0	9

⑧摘要欄

※表面をお読みください。

⑨(源泉・特別)控除対象配偶者の情報

控除対象配偶者または配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。

※退職した方で源泉控除対象配偶者を有している場合も、記入してください。

給与支払報告書(個人別明細書)

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

⑩配偶者の合計所得

控除対象配偶者、または配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額を記入してください。また、年の途中で退職した方が源泉控除対象配偶者を有している場合は、源泉控除対象配偶者の所得の見積額を記入してください。

※配偶者控除の適用がある場合についても、配偶者の合計所得金額の記入が必要となりますので、注意してください。

(記入例)

⑪所得金額調整控除額

所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の金額を記入してください。また、摘要欄への記入が必要な場合があります。
※表面の⑧摘要欄の記入事項7をお読みください。

⑫住宅借入金等特別控除の額の内訳

住宅借入金等特別控除の額の 内訳	A	C	D	E
住宅借入金等特別控除 適用額	円	円	円	円
住宅借入金等特別控除 可能額	円	円	円	円

A：住宅借入金等特別控除適用数

家屋の新築又は増改築等をして住宅借入金等特別控除の適用がある場合は、当該控除の適用数を記入してください。なお、適用数が3以上のときは、摘要欄に住宅借入金等特別控除区分、居住開始年月日及び年末残高を記入してください。

B：住宅借入金等特別控除可能額を記入してください。

C：居住開始年月日を必ず記入してください。

D：住宅借入金等特別控除区分

適用を受けている住宅借入金等特別控除の区分を次のように記入してください。

住…一般の住宅借入金等特別控除の場合(増改築を含む)
認…認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合
増…特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合

また、該当住宅の取得や増改築が「特定取得」に該当する場合には、「(特)」を、「特別特定取得・特例取得・特別特例取得」に該当する場合には、「(特特)」を、「特別特別特例取得」に該当する場合には、「(特特特)」を付記してください。

例：特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用があり、特定取得に該当する場合は「増(特)」と記入します。

E：住宅借入金等年末残高を記入してください。

⑬扶養親族の情報

氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。令和7年1月1日現在、国外に居住している場合、控除対象扶養親族については手引を参照の上、区分欄に対応する区分の「01～04」の番号を記入してください。16歳未満の扶養親族は区分欄に「0」を記入してください。

⑭5人目以降の扶養親族等

5人目以降の控除対象扶養親族もしくは16歳未満の扶養親族の個人番号を記入してください。その場合、摘要欄への記載が必要です。
※表面の 摘要欄の記入事項1をお読みください。

⑮乙欄

主たる給与の支払いが他にある場合は○を記入してください。

⑯寡婦・ひとり親

年末調整において寡婦・ひとり親に該当することとなった場合、該当する欄に○を記入してください。

⑰受給者生年月日

受給者が未成年者であるかの判定や同姓同名の方の判別に使用しますので正確に記入してください。元号は漢字で記入してください。

⑱支払者の個人番号または法人番号

給与支払者の個人番号または法人番号を記入してください。